

としょかんだより



市立竹原書院図書館
竹原市中央4丁目7番11号
TEL 22-0778
FAX 22-1072

http://takeharashoin.jp/ 携帯用: http://takeharashoin.jp/mobile/

ようこそ！ みんなの図書館

図書館は「地域社会の応接間」のこと

http://www.city.takehara.lg.jp

最近いろいろなメディアで図書館資料の収集に関して取り沙汰されています。特にひとつの事件の報道をめぐるメディアの扱いなどについて、個人情報保護の立場からの議論があります。「この図書館はどうなんでしょうか？」と聞かれたりします。図書館は誰でも自由に出入りし、必要な情報にアクセスすることができる場です。つまり公共図書館は、社会と個人の発展を目指す公的機関として市民に開かれています。

先日も中通小学校六年生が「図書館ってどんなところ」と質問にきました。「図書館は0歳から九十歳以上の人もまで利用していますよ」と答えるとびっくりしていました。

すべての市民を対象とした図書館は、常に地域社会に起こる変化に能動的に対応をする公的機関として、生涯にわたる教育を支援するために広範囲にわたる資料を収集し提供することによって、人々に対して情報をアクセス可能なものとし、個人と地域社会に対して経済的、社会的な利益をもたらしています。ちなみに昨年度の行政効果(税金の還元率)は約二億八千万円でした。(平成一七年度図書館要覧を「覧下さい」)。

図書館は情報が十分に行き渡る民主主義社会の創造と維持に寄与し、住民の生活と地域を豊かにし、かつ発展できるように支援していく使命をもっています。

その上大切なことは、資料コレクションとサービスはいかなる種類のイデオロギー的、政治的、もしくは宗教、検閲にも、また営利的圧力にも屈することはゆるぎのないという、「図書館の自由」が保障されていることです。

自動車文庫わかたけ2号 巡回日程

▼第1コース 2/1 3/1 第1木曜日	
忠海公民館	10:30~11:30
大乗小学校	12:50~13:45
長浜会館	14:00~14:30
福田区民館	14:45~15:15
大乗保育園	15:30~16:15
▼第2コース 2/2 3/3 第1金曜日	
竹原保育所	10:30~10:50
喜多崎集会所	11:10~11:40
高崎城会館	13:30~14:00
忠海西小学校	14:30~15:20
雇用促進大乗宿舎	15:45~16:20
▼第3コース 2/8 3/8 第2木曜日	
吉名公民館	10:30~11:20
竹原西小学校	12:50~13:50
大井公民館	14:20~14:50
宿根生活改善センター	15:20~15:50
▼第4コース 2/9 3/9 第2金曜日	
小梨会館	10:30~11:00
竹原小学校	13:00~14:00
安田病院	14:20~14:50
中通小学校	15:10~16:15

▼第5コース 2/15 3/15 第3木曜日	
三原農協荘野支店	11:00~11:30
荘野小学校	13:00~14:00
東野保育所	14:15~15:10
東野小学校	15:20~16:15
▼第6コース 2/16 3/16 第3金曜日	
竹原西保育所	10:30~11:00
忠海団地竹原生協	13:30~14:20
忠海東部保育園	14:40~15:20
忠海東小学校	15:30~16:20
▼第7コース 2/22 3/22 第4木曜日	
仁賀小学校	10:30~11:30
田万里公民館	13:00~13:50
老人保健施設ゆさか	14:15~15:00
賀茂川保育所	15:15~16:15
▼第8コース 2/23 3/23 第4金曜日	
吉名保育所	10:30~11:00
吉名小学校	12:50~13:50
吉名沖辺集会所	14:00~14:30
竹原病院	15:00~15:30

図書館掲示板

2月の行事予定

えほんのかい

2月10日(土) 10:30~
図書館視聴覚室

読書会

2月28日(水) 13:30~
市民館2階会議室
課題: 遠藤周作「沈黙」

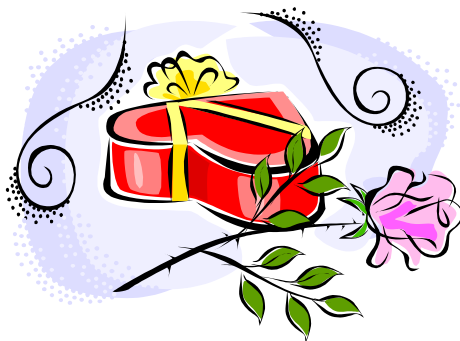
保健センター 絵本の出前

2月7日(水) 9・10ヶ月児検診
2月24日(水) 1.5歳児検診

本との出会いのきっかけに

★2階フロア ★☆☆

『きょうはなんの日』2月の記念日いろいろ



階段写真展



2月は神明さんの月です。竹原各地の神明さんの写真を展示しています。(1970年代~現在まで)

★3階フロア ★☆☆

『アジアの絵本やお話』

★3階エレベーター前…作家特集

今月の作家 「吉村 昭」

★3階図書館入り口 ★☆☆

特別企画展 「星野 道夫」



ベスト5

貸出予約

新・六星占術の極意 (細木 数子)
ナチュラルテイスト児童の袋物
地下鉄(メロ)に乗って (浅田 次郎)
The Private World of Tasha (チューダー)
あなたを幸せにする魔法の質問(大谷由里子)

使命と魂のリミット(東野 圭吾)
東京タワー(リリー・フランキー)
愛の流刑地(渡辺 淳一)
幸福な食卓(瀬尾 まいこ)
国家の品格(藤原 正彦)

でんしゃでいこうでんしゃでかえろう(間瀬なおかた)
ミック8(W.ウィック)
かいけつゾロリのぜったいぜつめい(原 ゆたか)
かいけつゾロリのおばけ大さくせん(原 ゆたか)
がたごとがたごと(内田 麟太郎)

アモス・タラゴン9(B.ペロー)
兎の眼(灰谷 健次郎)
お化け屋敷レストラン(たかい よしかず)
かいけつゾロリまもるぜ!きょうりゅうのたまご(原 ゆたか)
スーホの白い馬(大塚 勇三)

新刊コーナー



こどものほん

あけるな
くまのしんぶんきしゃ
ぼくのパパはおおとこ
ちいさいすのはなし
まんげつのはなし
こねこちゃんこねこちゃん
ゴオオオール！
ザリガニがきえる！？
ぜんぶわかるサイレンカーものしりずかん
命のバトンタッチ
親子で楽しむ絵かきうた104曲
日本語の大常識
動物園の暗号
純にいちちゃんの赤ちゃん
空はつながっている
レネット
ベストフレンド
フェアリースノーの夢

谷川 俊太郎
こんの ひとみ
C・ノラック
竹下 文子
住井 すゑ
長野 ヒデ子
C・マクノートン
谷本 雄治
中井 精也
今西 乃子

金田一 秀穂
有栖川 有栖
うみの しほ
日本児童文学者協会
名木田 恵子
堀 直子
松本 祐子

ブッキング
金の星社
セーラー出版
ハッピーオウル社
ブッキング
ひさかたチャイルド
アスラン書房
ポプラ社
成美堂出版
岩崎書店
ブティック社
ポプラ社
岩崎書店
国土社
新日本出版社
金の星社
あかね書房
小峰書店



おとなのほん



0からバッチリ！Excel一番使う基本技「ぜんぶ」！
大人になると、なぜ1年が短くなるのか？
神社のルーツ
アンコール文明への旅
ここだけは行ってみたい（フランス・イタリア）
民間大使ガーナへ行く
女性の職業のすべて 2008年版
生き物屋図鑑
10分でできるかんたん介護食メニュー
史上最悪のウイルス 上・下
談合がなくなる DANGOを考える会
岡野栄子お気に入りのフラットバッグ
リボンと布でカジュアルな花たち
スープの本
マンションで犬や猫と上手に暮らす
僕らが愛した手塚治虫
詩人の墓
決戦川中島
同窓生からのメール
もう愛の唄なんて詠えない
格闘的日常生活
異人館

一川 誠
戸部 民夫
波田野 直樹
浅井 和子
女性の職業研究会
盛口 満
在宅栄養アドバイザーE-net
C・T・グリーンフェルド

岡野 栄子
遠藤 紀子
南風食堂
金巻 とも子
二階堂 黎人
谷川 俊太郎
松本 清張
やまもと 繭実
さだ まさし
夢枕 獏
R・ヒル

宝島社
宝島社
ソフトバンク
連合出版
ピエ・ブックス
文芸社
啓明書房
木魂社
主婦の友社
文芸春秋
日刊建設工業新聞社
日本放送出版協会
文化出版局
主婦と生活社
新日本出版社
小学館
集英社
一草舎出版
文芸社
ダイヤモンド社
講談社
早川書房

他にも新刊がたくさん入っています。どうぞご利用ください。

「吉井家所蔵寛永・正保期大福帳」竹原市史第5巻収録 昭和42年

1 竹原市史の解題によると、寛永期(1624年)以前の大福帳としては日本でも最古の部に属し内容も豊富で近世初期の農村事情を知るうえでも貴重な資料であると書かれている。市史5巻には、寛永10・12・14・22年、正保2年までが収録されているが、それ以外に承応(1648年)から安政5年(1858年)までの10冊余りが残っている。

吉井家は屋号を米屋と称し、近世初頭から上市の商人で、塩田経営・酒造・塩問屋・廻船業など多角的経営を行い、また、竹原下市一級の商人として、2代目又三郎正次から(明暦3年、1657年)代々町年寄役を明治4年までの215年間ほとんどその地位を占め、元禄年間には、殿様の本陣で、御成間・本陣庭、門が建てられた。

13代章五は、当館6代目の館長も務め「昭和鉱業・竹原電煉工場の回顧」(三井金属鉱業株式会社)によると、第一次塩田廃止の後、埋め立て・企業誘致、昭和7年7月10日の呉線開通などにも尽力した。昭和39年4月に亡くなったが、当時の有原市長は「先生常にいわく、成さんとすれば必ず壁あり。毀誉褒貶これ何ものぞ、眼中唯あるは郷土竹原のみ」と弔辞で述べ称えている。

職員からのおすすめの本

『Alaskan Dream』『アラスカ光と風』 星野道夫 著

1月の凍えそうな夜、竹原の海岸で車に泊まった。何もなく冷たい寝袋の中は、いつもよりもゆっくりと時間が流れていて、さまざまなことを考えることができた。星もきれいだった。

星野さんは、アラスカに魅せられて、冬になるとほかの旅人も写真家も行くことのないマッキンレー山に1人で1ヶ月もキャンプした。夜テントの中、あるいは焚火のそばで何を考えて、何を見ていたのだろうか。またあるときは、グレイシャーベイをカヤックで旅をした。人のいない大自然の中で、何に出会い、何を見つけたのだろうか。

「すべてのものに同じ時間が流れている。」そう考えると心がホッとするのはどうしてだろう。星野さんの本を開くと、ゆっくりとした時間に包まれ、普段は気にも留めていなかった大切なことを見つめなおすことができる。それから、自分が忘れていた数多くのことを思い出させてくれた。

ご自宅にラベルのついた本はありませんか？

ご自宅に図書館の本が残ってはいないでしょうか？

図書館の本にはラベルとバーコードが貼られています。

ご自宅で返し忘れの本を発見されましたら、図書館のポストまで返却をおねがいたします。

